

青山星灯籠

Aoyama Lanterns



下
谷
榮
版

後
藤
徹



令和2年9月17日(木)-20日(日) 午後5時-8時 (小雨決行・荒天中止)
 ののあおやま (港区北青山3-4-3) 入場無料

共催 青山星灯籠実行委員会 / 一般社団法人まちづくりののあおやま
 実行委員会メンバー(アイウエオ順)
 浅葉克己(アートディレクター) / 有賀長人 / 市川博一(ICHYS GALLERY) / 後藤 徹(SIG)
 遠山秀子(山陽堂書店) / 水野成美(たりたり) / 和多利浩一(ワタリウム美術館)

協力 青山商店会連合会 / 青山まちづくり協議会

連絡先 青山星灯籠実行委員会 hoshitourou@gmail.com

ASABA
 2020.9.14.

青山星灯籠ふたたび

夏の夕方、家々から長い竿が天高く伸び、その先に様々な灯籠が灯され星のように輝いています。

その灯火を流れ星に見立て、祖霊の帰来を偲びました。

この青山の地でふたたび「星灯籠」を甦らせ、逝きし人を偲び、土地の記憶を訪ね、地域の環境と文化を体験することで青山らしい暮らしとは何かを見つめ直すきっかけになればと考えています。

ののあおやまでは、亡き方へ、伝えたい言葉を短冊に書いて笹に飾っていただけのように、星灯籠展示の四日間、笹と短冊を用意しています。

青山星灯籠甦生プログラム

江戸時代から明治時代初期頃まで、青山・百人町周辺で行われていた「星灯籠」は、旧暦7月の1カ月間、竹竿の先に提灯をつけて高く掲げるお盆の行事でした。

夜にはまるでたくさんの星が出ているように見えたところから「星灯籠」と呼ばれ、二代歌川広重の浮世絵にも描かれました。この行事を甦らせることで、青山の歴史を遡り、かつてここにあった環境と暮らしを再発見したいと考えています。これからの街と人の暮らしについて考えるための新しい取り組みです。

関連イベント

特別展示「青山星灯籠甦生プログラム」青山 街、暮らし 江戸～明治

日時 令和2年9月17日-30日(日祝休)

11時-19時(最終入場10分前) ※土曜日のみ17時まで

会場 山陽堂書店2階ギャラリー(東京都港区北青山3-5-22) 入場無料

星灯籠特別対談 ～浮世絵からみる青山～

対談者 浅葉克己(青山星灯籠実行委員/アートディレクター)/高橋由貴子(東京 高橋工房 六代目代表)

日時 令和2年9月20日(日)17時-18時

会場 ののあおやま「ぶたい」※雨天時 テマエ3階(東京都港区北青山3-3-17) 参加無料



「東都青山絵図」個人蔵

青山通りは、その昔大山道と呼ばれていました。今も残る寺社など、古地図を参考に会場までお越しく下さい。